

和木 ぶんか

WAKI Culture

3.25
2021令和3年
No.53



石のモニュメント

「TO THE SKY 1992」

澄川 喜一作

<所在地>

和木美術館（アートウィング）前庭

玖珂郡和木町和木1-3-1

和木町文化会館落成を記念して設置

WAKI Culture



会長 松本 康夫

ごあいさつ

コロナ禍における文化活動

平素は、和木町文化協会の事業にご理解、ご支援いただきありがとうございます。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界中で活動の自粛を余儀なくされた年でした。当協会でも、やむなく活動を中止したり、無観客での撮影会に挑戦したりするなど、これまでにない方法を模索して参りました。キッズ芸能祭の代替事業として開催した中学生向けのオーラートークショーでは、幻想的なオーロラの映像に多くの子供たちが目を奪われていました。例年、約20団体が一堂に会し賑やかに開催する芸能祭は、日数をかけて発表の様子を撮影し、オンライン配信としました。初めての試みにとまどうこともありましたが、大きな成果を得られたのではないかと自負しております。

当協会は、これからもあらゆる可能性を考慮し皆様方に発表の場を提供して参ります。収束はまだ先かもしれません、感染防止対策を行ったうえで、新型コロナウイルスに負けずに頑張りましょう。

文化協会総会

<総会 書面決議>

令和2年度和木町文化協会総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面による審議を行いました。



平成31(令和元)年度事業報告、収支決算報告、監査報告、令和2年度事業計画、収支予算、会則一部改正について、書面審議の結果、賛成多数により承認されました。

令和2年度 行事報告

新型コロナウイルス感染拡大防止策を施し、工夫をこらした活動を行いました。

2020 7/5日 7/25土	はっち弦楽合奏団 録音・録画会 和木町文化会館	2020 7/26日	AMM DANCE RECITAL 2020 和木町文化会館
-----------------------	-------------------------------	---------------	--------------------------------------

2020 8/30日	和木町文化協会 第九にみるドイツ語講座 和木町総合コミュニティセンター	2020 9/27日	ダンスサークルABEATクラブ ビデオ撮影会 和木町文化会館
---------------	---	---------------	--------------------------------------

2020
10/4
日

和木中学校吹奏楽部OB会 2020年ふれ愛コンサート

和木町文化会館



2020
10/4
日

はっち弦楽合奏団 弦楽器メンテナンス講習会&合奏

和木町文化会館・和木美術館



2020
11/1
日

和木短歌会 公開短歌教室

和木町文化会館



2020
10/30(金)
12/18(金)

コミセンパソコン教室 ハロウィンパーティー クリスマスパーティー

和木町総合コミュニティセンター



2021
3/25
木

四境太鼓 太鼓まつり21

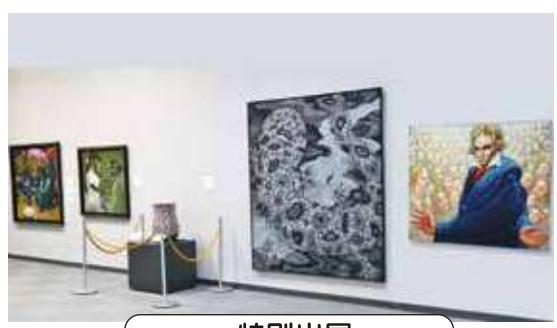
和木町文化会館



緑の風薫る文化のまち 和木町

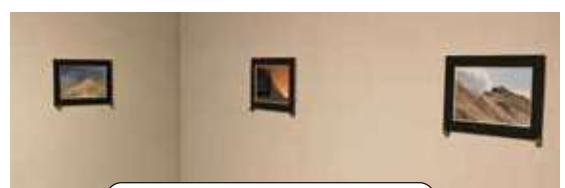
和木町 文化祭 展示会

2020年 10月24日㈯→11月3日㈰・祝
和木美術館(アートウイング)



特別出展

絵画：三分一 貴司 「オマージュ@ベートーヴェン」
島崎 こずえ 「生きる」
島崎 陽子 「市のたつ日1・2」
陶芸：藤川 晓子 「幸せの花ふぶきに揺られて」



写真「砂山」 嘉屋 信明



子供絵画教室



正筆書道会



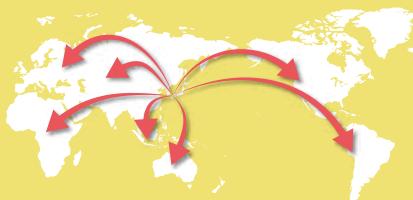
フラワーアレンジメント講座



和木絵画クラブ



和木短歌会



スモールタウン和木町から 世界に向けて発信中!!

令和2年度の芸能祭は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、無観客で開催し、新たな試みとしてインターネット上で発表しました。2020年11月12日～16日の5日間、和木町文化会館及び和木町総合コミュニティセンターで各団体の動画を撮影し、アイ・キャン「和木ちゃんねる」で放映しました。

YouTube(公開、限定公開)、ホームページ、SNS等で配信中です。

Web芸能祭



「和木ちゃんねる」で放映しました
●1/11～1/17 ダンス・舞踏編
●1/18～1/24 演奏・コーラス編

YouTube公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



AMM

YouTube公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



馨風流吟剣詩舞道 和木支部

YouTube公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



コーラス「あひる」

YouTube公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



四境太鼓

YouTube公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



ダンスサークルABETクラブ

YouTube公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



ナニモハラ

YouTube公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



ハーモニーCoo

YouTube限定公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



手話サークル「虹」

YouTube限定公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



はっち弦楽合奏団

YouTube限定公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



プチママコーラス

YouTube限定公開

アイ・キャン
和木ちゃんねる



和木中学校吹奏楽部OB会

アイ・キャン
和木ちゃんねる

アイ・キャン
和木ちゃんねる



不二心流吟道会

アイ・キャン
和木ちゃんねる

アイ・キャン
和木ちゃんねる



和木ルンルンクラブ

くわしくは、
ホームページをご覧ください

和木町文化協会

検索



オーロラのメッセージを受けて 地球の奇跡を実感しよう

オーロラメッセンジャー 中垣 哲也

2020年10月29日、和木町文化会館ホールで、オーロラ上映&トークライブを開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として入場制限し、和木中学校生徒のみの鑑賞会となりました。

「私たちは、絶妙な調和とバランスが成り立った奇跡の自然に抱かれている」という内容の素晴らしい映像とお話をでした。

オーロラメッセンジャーになった理由は?

少年時代から身近な自然や星空、音楽に関心を持っていました。高校では、写真、すなわち自分が魅了されたシーンを記録することに夢中になりました。この少年時代に育んだ感性が、今の活動を支える強靭な基盤となっています。診療放射線技師として大学病院に勤務していた頃は、カメラ機材をどっさり抱えて星空天国ニュージーランドを訪れるのが至福の時でした。2001年は活発な太陽活動の影響で、オーロラも活動的になりました。いつもはオーロラを見ることができないニュージーランドですが、その時、遙か南の地平線に見えた真っ赤な光景(磁気嵐)が、未知の世界への扉を開いてくれたように思います。即座にオーロラの現場に行こうと決意した私は、翌年から北米大陸の北の果てに潜り込みました。そして、いきなり夜空が割れて光が噴き出す脅威的なシーン(オーロラ爆発)に遭遇した時、全身全霊を何かが貴いたのです。帰国しても、しばらく放心状態。以後は、とりつかれたようにアラスカやカナダ(北米)の極北に通いました。オーロラに出逢って5年後、私は医療現場を離れ、オーロラと共に生きる方向に舵を切りました。

オーロラはいつ、どこで見られますか?

オーロラは南北両極側に発生します。一般的に南極大陸には行けませんので、北欧か北米のどちらかで見ることになります。私にとっては、自分で運転すれば、北へ北へ、奥地まで行けるカナダやアラスカ(米国)が魅力的で、20年近く通い続けています。360度見渡しても、街明かりが見えない辺境では、晴れた夜は宇宙を体験出来、悪天候なら生きた心地がしなくなることも。実はオーロラは年中発生しており、寒いから見えるものではありません。オーロラが見られる高緯度では、夏は白夜となり、夜でも明るいため、オーロラは見えないので。夏以外は夜は暗くなるので、いつでもチャンスがあります。白夜が終わった秋は、景色も鮮やかで、さほど寒くないので、オーロラをじっくり狙うには絶好期です。毎年、私は1ヶ月間、秋の極北の大地に野営します。クマやオオカミが生息する生態系が保たれた自然でオーロラを待ち受けることで、私の感覚は研ぎ澄されます。オーロラ自体は毎晩普通に見られ、数時間は空のどこかが多かれ少なかれ光っています。ただ、映像にして皆さんに見てもらいたいような大物は簡単には登場しません。その日その時、刻一刻と活動度が変化しますが、穏やかでぼんやりしているときはカメラを温存して、たき火あたりながらのんびりと眺めてチャンスを待ちます。オーロラが活動的な時は、おいしい獲物を逃さないように一晩中必死に撮影します。

最強のオーロラ「磁気嵐」ニュージーランド南島で





オーロラはなぜ発生するのですか？

オーロラは「太陽と地球のコラボレーションの産物」。太陽の外層大気コロナ(100万°Cのガス)は、太陽の重力を振り切って猛スピードで加速され、太陽風(プラズマ流)となって宇宙空間に流れ出し、3日ほどで地球のまわりに吹き付けます。しかし、それが地上に及ぶことはありません。地球のまわりの宇宙空間にある「地球磁気圏」が盾となり、生命防御システムとして働くからです。吹き付ける太陽風と地球磁気圏とのせめぎ合いにより発電された膨大なエネルギーは、北極と南極を通る磁力線に流れ込み、超高層にわずかに存在する酸素・窒素を光らせます。

そうして出来たオーロラの形は、磁力線が宇宙に伸びて、地球のまわりに磁気圏という安全地帯を形成していることを示しています。蛍光グリーンは、酸素が光る時に発する独特な色で、地

球は植物にあふれ、酸素に包まれていることを意味します。地球のオーロラの特徴は、私たちがこの惑星に生まれてきたことの象徴なんです。

太陽コロナ



宇宙空間にたまつたエネルギーが
一気に解放されるオーロラ爆発



オーロラを楽しむコツ、最善策は？

こころの準備が効果的です。例えば、プラネタリウムで宇宙を感じてみる。また、現地のことを色々と調べたりするとワクワクしてきます。人は五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)を使って外界を感じますが、例えば皆さんのがオーロラを見ることは、視覚では光を認識するだけ。次に感性が反応して、わーきれい！という感動に至ります。感性は人によって千差万別で、日頃の様々な感動体験の積み重ねで育れます。オーロラのもとで感涙する人は、事前から感受性がふわっと高まっています。また、カメラファンには極上の被写体です。オーロラ撮影は、日常では考えられないような光景を簡単に撮ることができて充実感を味わえますが、少々危険を伴います。一度味わうと、やみつきになり、お金と体力が続く限りオーロラのもとに通い続けることになります！

オーロラで何を伝えたいのですか？

オーロラは地球と宇宙の境目付近で発生し、過酷な宇宙環境と、豊かな地球環境両方の要素を発信しています。昨今、気候変動や環境問題が議論されています。しかし、そもそも地球はどんな存在で、まわりはどのような世界か？という根源的な概念が抜けているのではないか。私は、講演活動を通してそのように感じます。過酷な宇宙で「生きる」ことの難しさ。その闇の中に、オアシスのような地球があるという奇跡！そして私たちは、そのありがたい自然に生かされていること。オーロラの輝きを感じて謙虚になれたら、きっと「自然への畏敬の念」がこみ上げてくるはずです。地球に生まれたことに感謝！それを私なりの表現で伝えることを使命だと感じています。

中垣哲也 プロフィール

2007年に大学病院放射線技師からオーロラマッセンジャーに転身。『奇跡の地球』を伝える独創的なオーロラの撮影・投映により全国に多くのファンをもつ。2020年5冊目の写真集を刊行。毎年、北極圏オーロラツアーを企画引率。

<http://www.aurora-dance.jp/>



第8回 和木町絵画美術展覧会

主催 / 和木町文化協会 後援 / 和木町・和木町教育委員会



副賞のクリスタル・トロフィー

新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、3月7日から21日までの15日間、和木美術館（アートウイング）で、第8回「和木町絵画美術展覧会」を開催しました。

一般135点、高校生52点、合計187点と、近年になく多くの応募があり、3密を避けながらも充実した展覧会となりました。

来年の第9回「和木町絵画美術展覧会」へのご応募を楽しみにお待ちしております。

WEB 展示場 → [和木町文化協会](#)

検索



審査の様子

審査員講評



比治山大学短期大学部美術科教授
高木 茂登

昨年に続いて2回目の審査ということで、今回も、どんな作品に出会えるか楽しみに審査に臨ませていただきました。

出品作品は、技法や表現、テーマなどが実に多彩で、それぞれの出品者の個性や思いが迫ってきました。特に今回は、コロナ禍の中で静かに制作に向き合われたことを思うと頭が下がる想いでした。今回も、作品の方から呼びかけられ、引き込まれたものを賞作品としました。今回も新しい魅力的な作品に出会えたことを感謝したいと思います。

充実した展示になっていると思います。



東亜大学芸術学部教授・国画会会員
川野 裕一郎

初めて和木町絵画美術展の審査に参加させていただきました。出品された方々はコロナ禍において自己の作品に向き合い日々制作されていたという事がとにかく嬉しかったです。

様々なジャンルの作品があり表現方法も多種多様で飽きることの無い出品作品であった。特にとらわれない独自で創り上げた技法、描写方法が印象的なものが多くて面白かったです。受賞作品はその中でも特に個性的であり存在感のあるものを選んだ。

高校生の作品も新鮮な気持ちで描いた感じが伝わってきました。今後の、のびしろに期待が持てると思いますので、これからも続けて制作してもらいたいと思います。

**第8回
和木町絵画美術展覧会
入賞作品**

【大賞】



「向火葵 (ひまわり)」

国光
美津恵 (岩国市)

【優秀賞】



「ダッカ裏通り」
山下 淳子 (宇部市)

【奨励賞】



「三分一重厚 (和木町)」

【奨励賞】



「陽ざし」
西本 富雄 (柳井市)

秀作

- 「熟考 (スウェーデン)」
- 「明日のこと」
- 「顔」
- 「日・日・灯明」
- 「冬木立」
- 「傘のもと」
- 「木の葉の幻想」
- 「蓮」
- 「古代都市へのオマージュ」
- 「解放へ」

- 大島 英昭 (岩国市)
- 神田かずみ (岩国市)
- 島崎みや子 (岩国市)
- 進藤美美子 (岩国市)
- 寺井 壽一 (益田市)
- 原田富士子 (周南市)
- 森田美知子 (岩国市)
- 山下喜代女 (広島市)
- 吉田 進 (岩国市)
- 吉田 裕子 (周南市)

佳作

- 「樹の貴婦人」
- 「紫のガウン・マイケル」
- 「枯彩」
- 「杜」
- 「green curtain 2020」
- 「杜の宮」
- 「水路沿いの小道」
- 「アイリスと糸蜻蛉」
- 「晴れるかな (おかたづけ)」
- 「下関海峡の追憶」
- 岩田 キミ (周南市)
- 市岡 明 (岩国市)
- 市川 賢次 (岩国市)
- 佐々木和美 (北広島町)
- 竹本 麻紀 (広島市)
- 田中 勝人 (大竹市)
- 田辺 豊和 (周南市)
- 友末富美子 (田布施町)
- 中谷 孝史 (平生町)
- 久本 徳夫 (岩国市)

高校生の部

【大賞】



「クラゲ×クラゲ」 灰岡 千夏穂
(熊毛南高等学校)

【優秀賞】



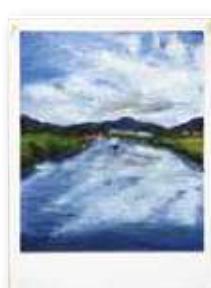
「I'm here」 宮崎 美音
(光丘高等学校)

【奨励賞】



「色の戦争」 相川 拓輝
(岩国工業高等学校)

【奨励賞】



「高角橋から」 後藤 薩綾
(益田高等学校)

審査員特別賞

- 「失敗」 小松 巧翔 (岩国工業高等学校)
- 「Emotion with コロナ」 佐藤 翔 (大竹高等学校)
- 「慈雨」 藤本 都香 (岩国総合高等学校)
- 「今日も危は宝石の海を泳ぐ」 柳田 純香 (光高等学校)
- 「容易いしごとはない」 山本 咲菜 (岩国高等学校坂上分校)

おめでとうございます

和木町文化協会 名誉顧問

澄川喜一氏

文化勲章受章

当文化協会設立時から名誉顧問を務める
澄川喜一氏が、2020年度文化勲章を受章
されました。

澄川喜一先生 文化勲章受章記念式典にて



会長

名誉顧問

副会長



澄川喜一氏 プロフィール

1931年 島根県鹿足郡六日市町（現・吉賀町）生まれ。

岩国工業高等学校、東京藝術大学彫刻科卒業。

1995～2001年同大学学長。

岩国市にある錦帯橋に着想を得た「そりのあるかたち」
シリーズで知られる彫刻家。

東京スカイツリーのデザイン監修を務めるなど、全国に
野外彫刻・環境造形を多数手がける。

「そりのあるかたち」とは

岩国市にある錦帯橋や京都の五重塔をみて、作者が心を打たれた
形、つまり、日本人が心を打たれる美しさを形にしたものです。

天と地=宇宙の姿を表した日本の新しい和の形ともいえます。

第63回山口県読書感想画コンクール

【優秀賞】 「オバケが追いかけてくる森」

山本 悠人君（和木小学校5年）

【優良賞】 山田 こはるさん（和木小学校2年）

森本 優歌さん（和木小学校5年）



山本 悠人君

第63回西日本読書感想画コンクール

【佳作】 山本 悠人君（和木小学校5年）

第63回山口県読書感想文コンクール

【優良賞】 楠田 結菜さん（和木小学校4年）

第26回「トラックの日」絵画コンクール

【山口県トラック会長賞】樹木 芙慈子さん（和木小学校5年）

編集後記

コロナで不安な世の中ですが、
みんながマスクをはずして
笑いあえる日が
早く来ますように
(崎本)